

薬局・薬剤師の機能発揮と評価の現状

－ 社会医療診療行為別統計2023年6月実績より－

社会医療診療行為別統計とは、

医療保険制度における医療の給付の受給者に係る診療行為の内容、調剤行為の内容、薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的として、**毎年、前年の6月審査分の状況が公表される。**

統計表では診療行為（医科・歯科）・調剤行為の状況、薬剤の使用状況の結果が回数・点数別等で提供される。

URL : <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450048&tstat=000001029602>

医療制度検討委員会

2024年8月



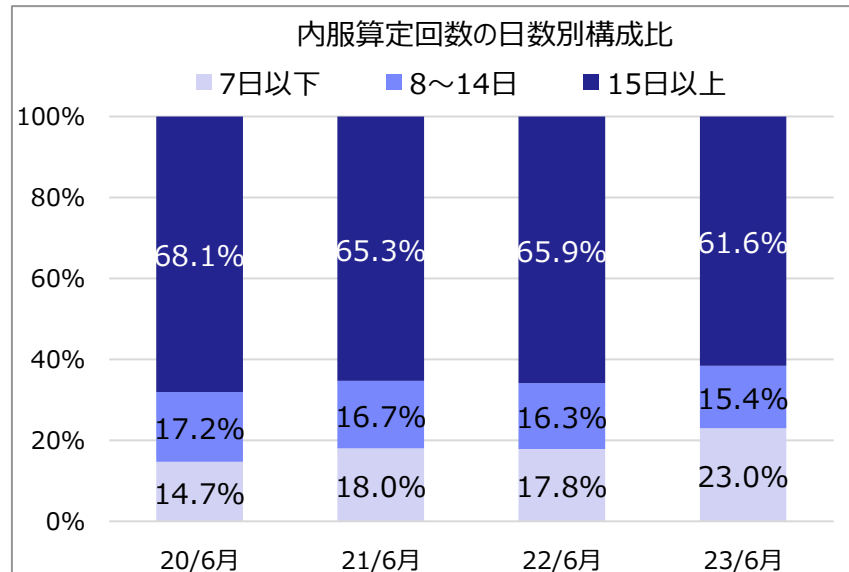
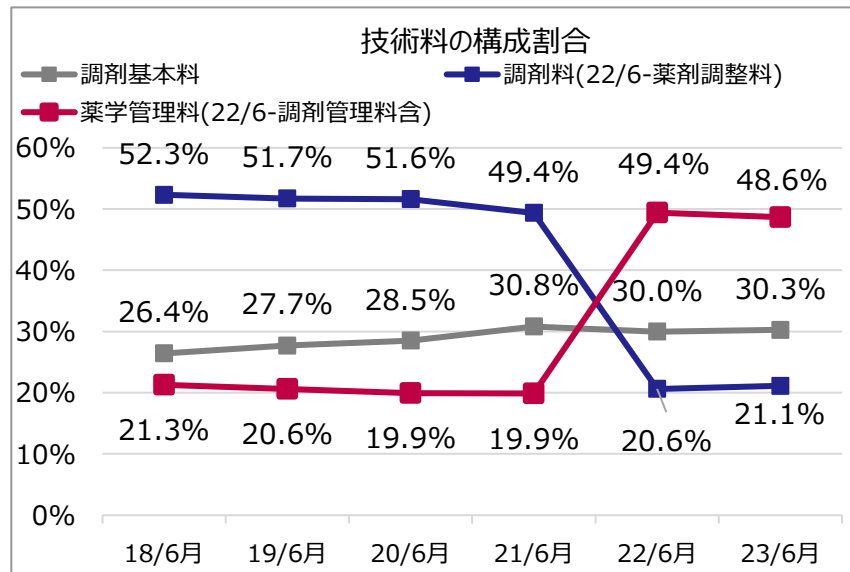
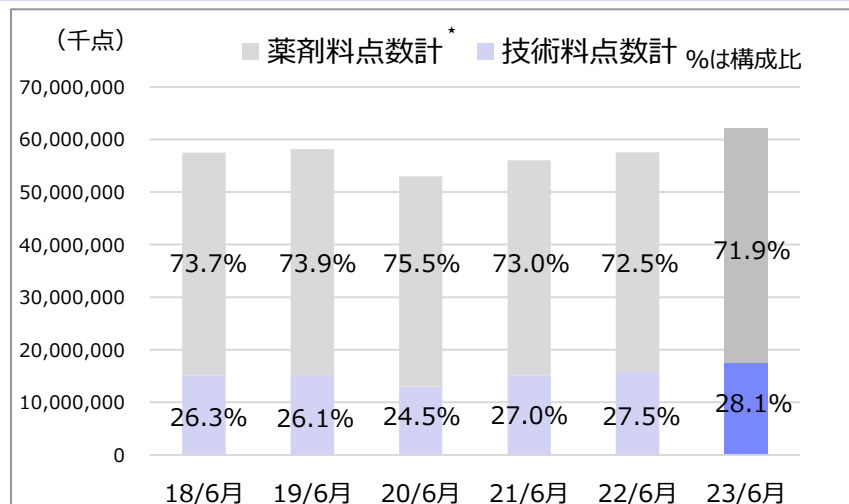
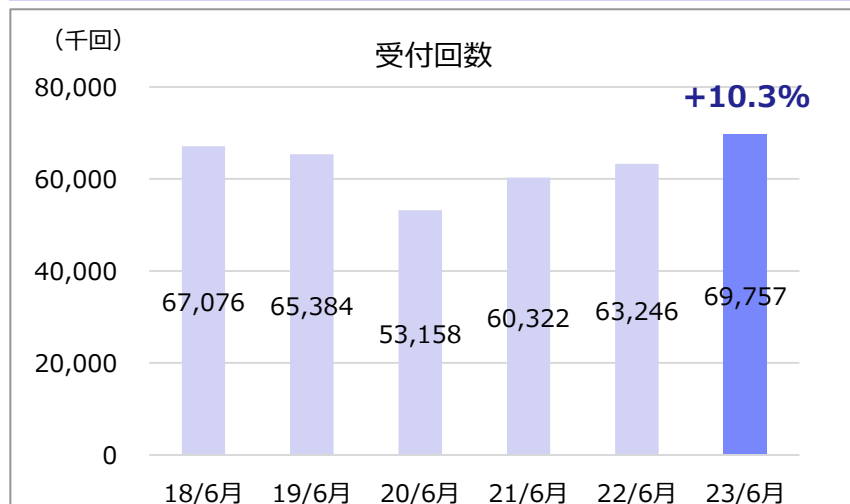
1. 調剤全体の状況

2. 薬学管理料・加算の算定状況

3. 調剤基本料・加算の算定状況

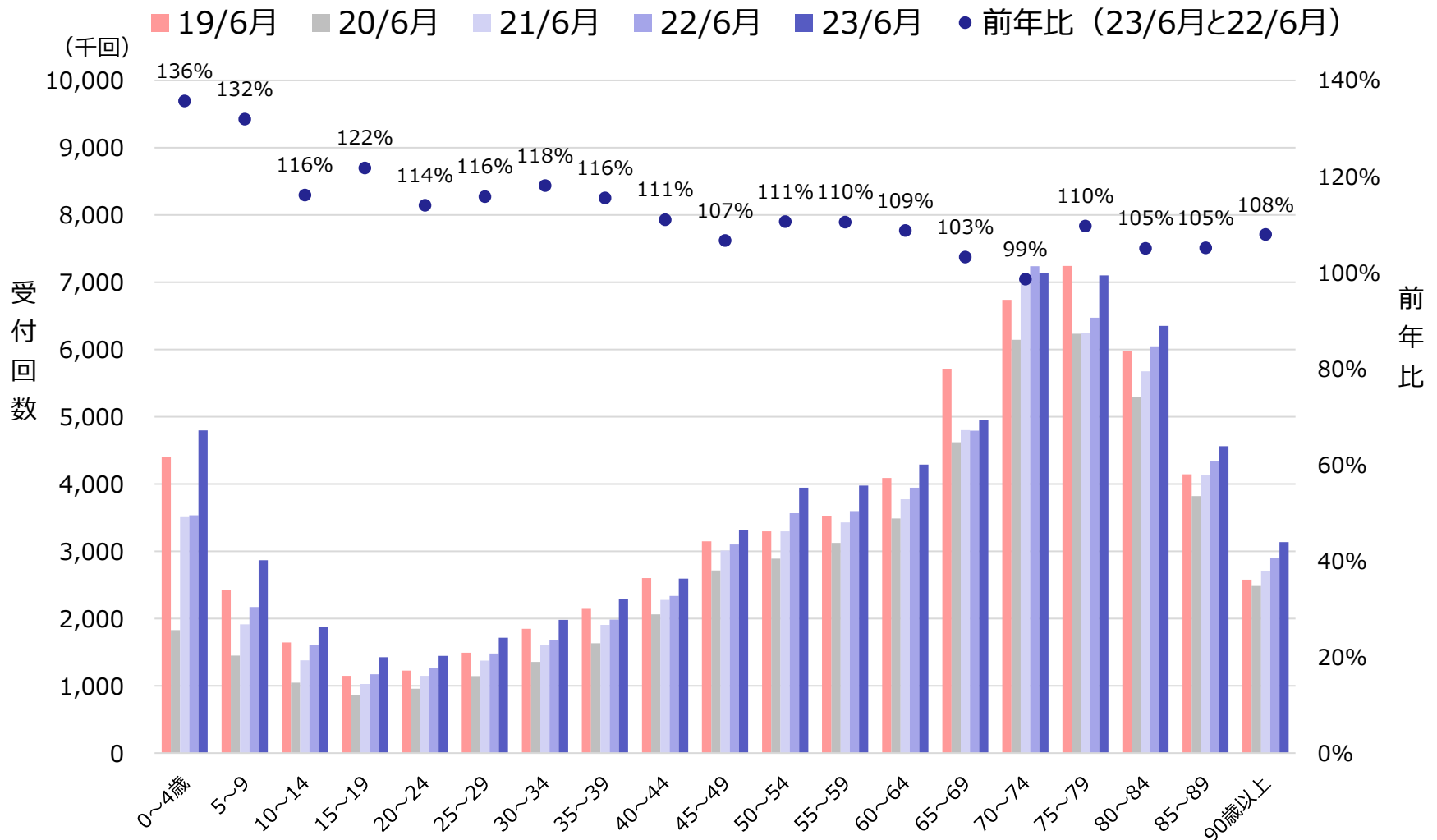
調剤全体


受付回数は前年比10.3%と大きく伸長し、コロナ禍以前の水準を上回り、内服算定回数の日数別構成比では、7日以下の割合が増えた。



年齢別受付回数

ほぼすべての年代において、前年比で受付回数の増加がみられ、コロナ禍以前の水準を上回った。特に乳幼児における受付回数の増加が顕著であった。

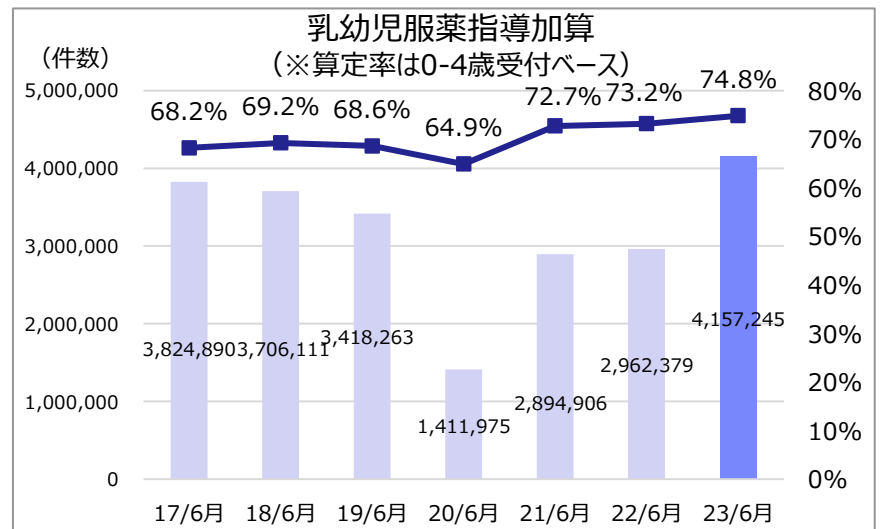
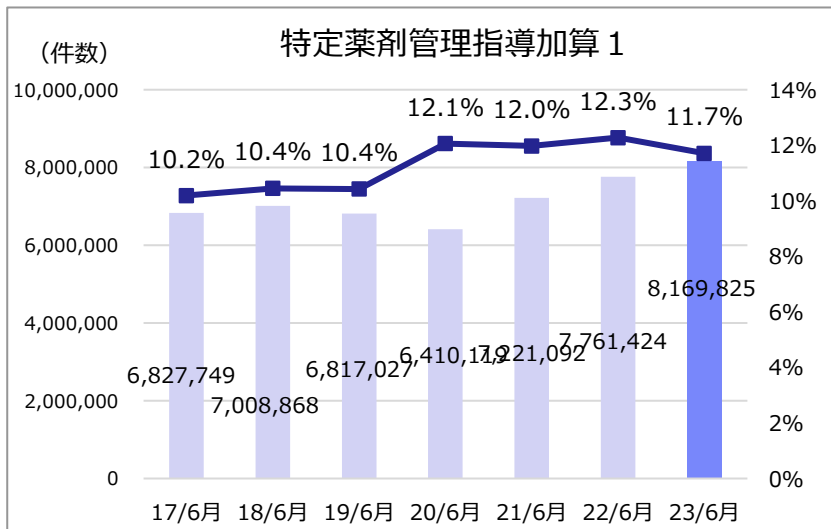
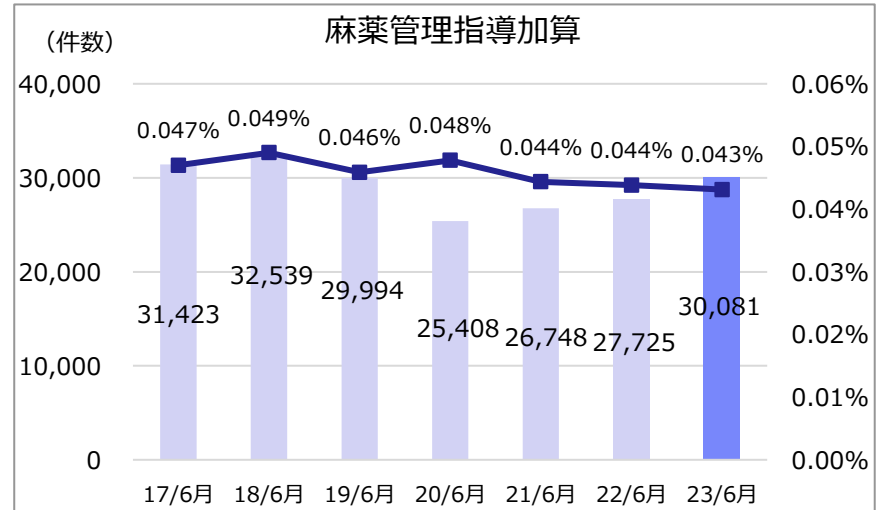
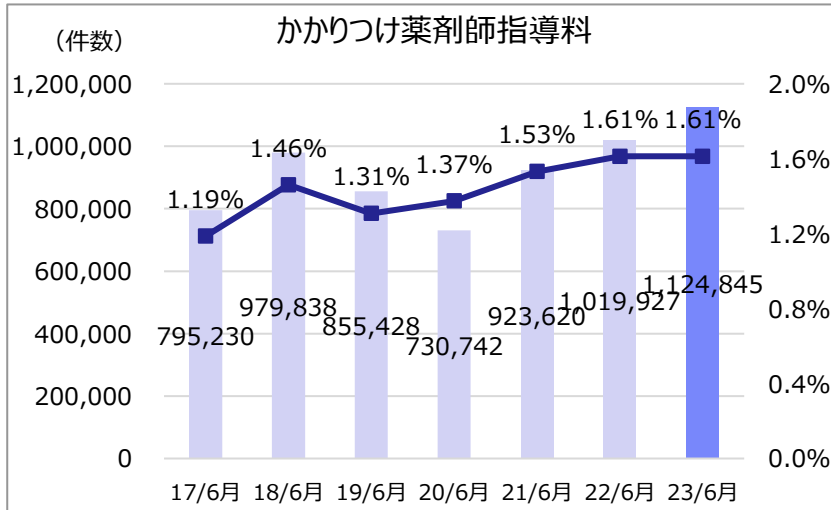


- 
1. 調剤全体の状況
 - 2. 薬学管理料・加算の算定状況**
 3. 調剤基本料・加算の算定状況

薬学管理料・加算の算定状況 1

■ 算定件数 ■ 算定率

かかりつけ薬剤師指導料の算定割合は1.61%であった。

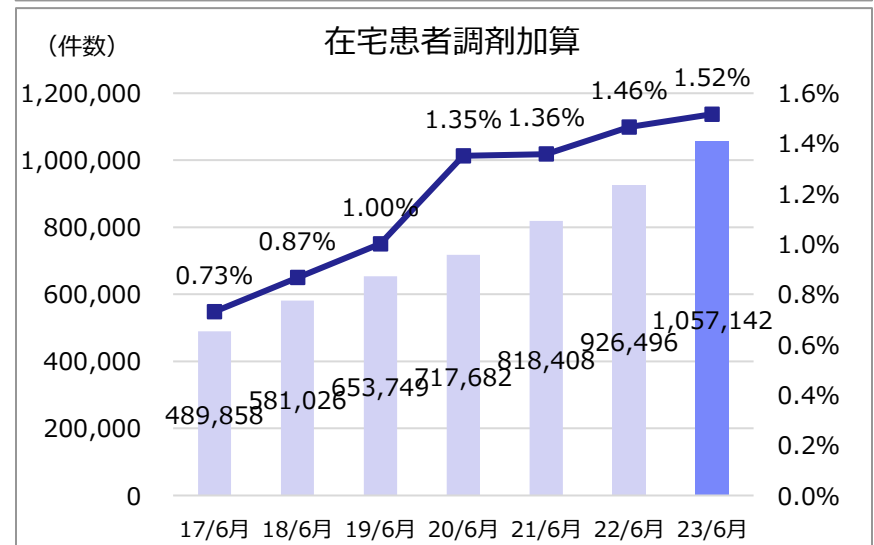
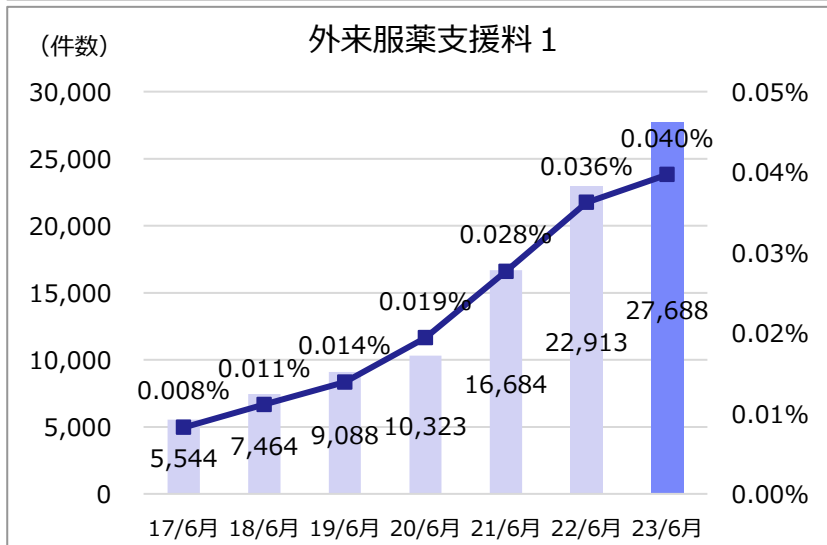
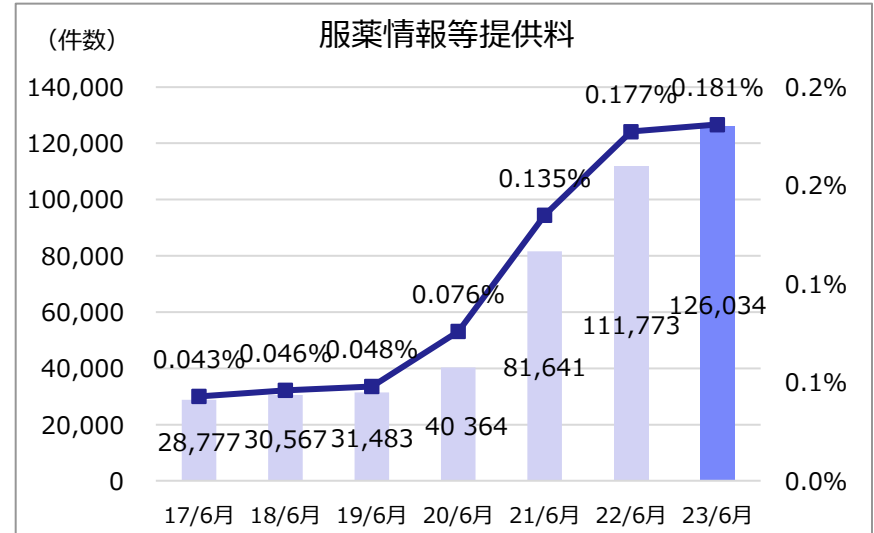
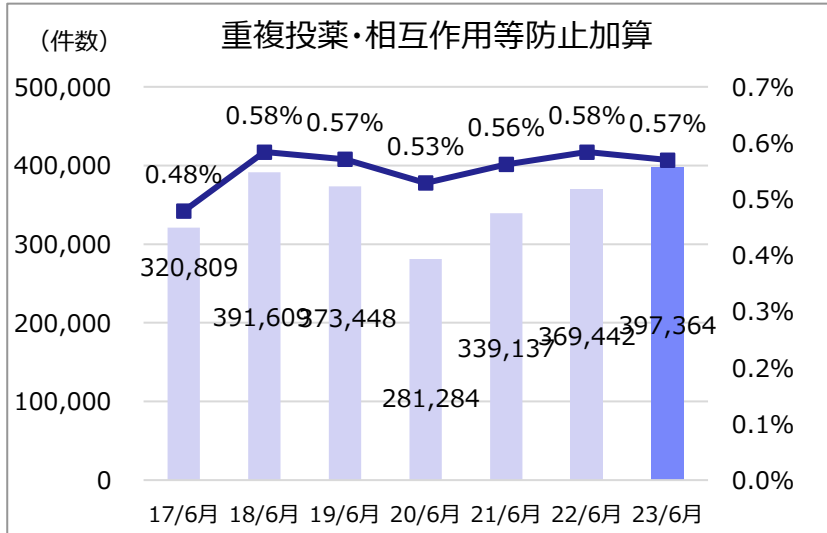


▶ 社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出
乳幼児服薬指導加算の算定率は0~4歳において、算定件数を受付回数で除して算出

薬学管理料・加算の算定状況 2

■ 算定件数 ■ 算定率

情報提供、服薬支援、在宅患者調剤加算、いずれも実績、算定率ともに伸びている。

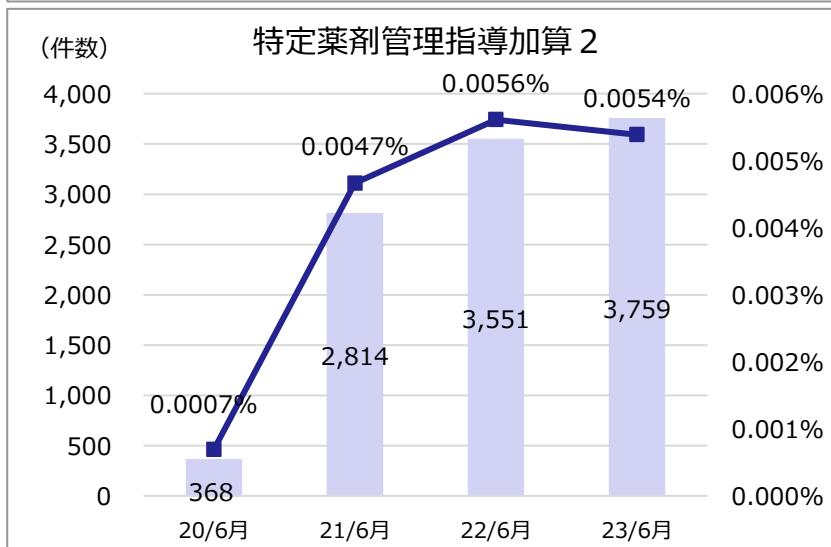
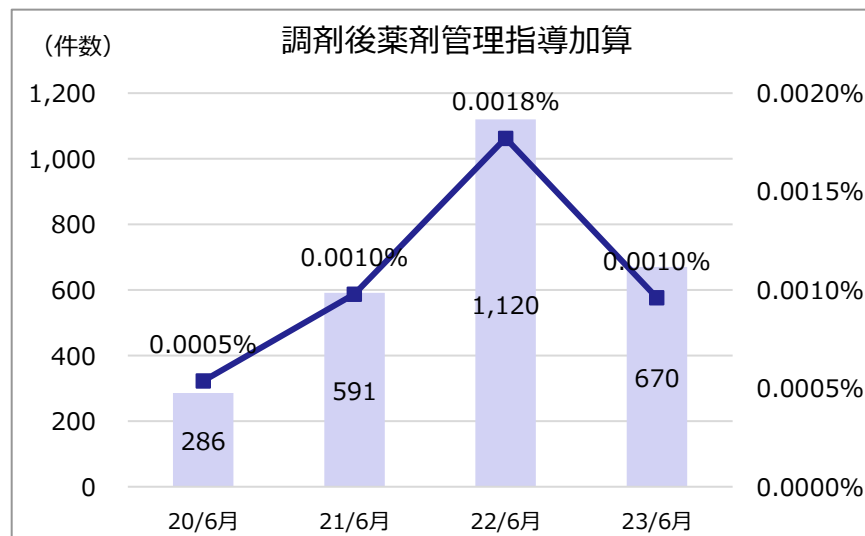
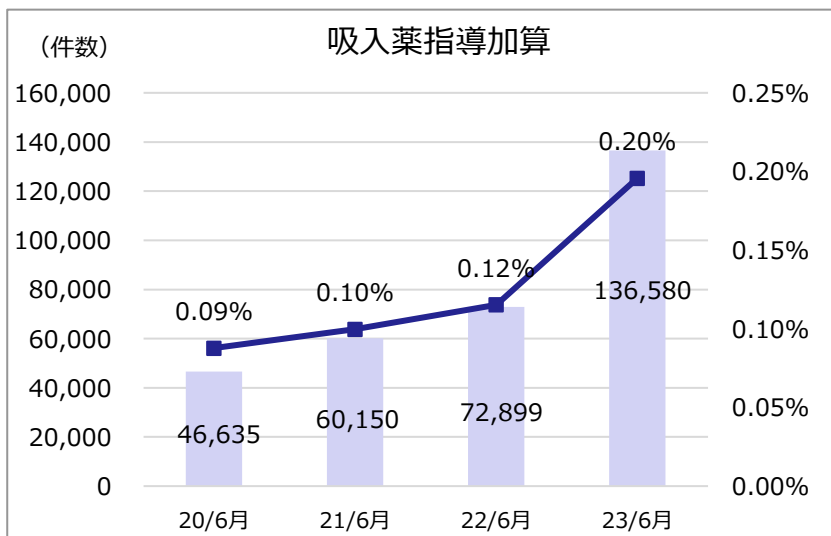


▶ 社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出 ▶ 服薬情報等提供料：長期投薬情報提供料含む

薬学管理料・加算の算定状況 3

■ 算定件数 ■ 算定率

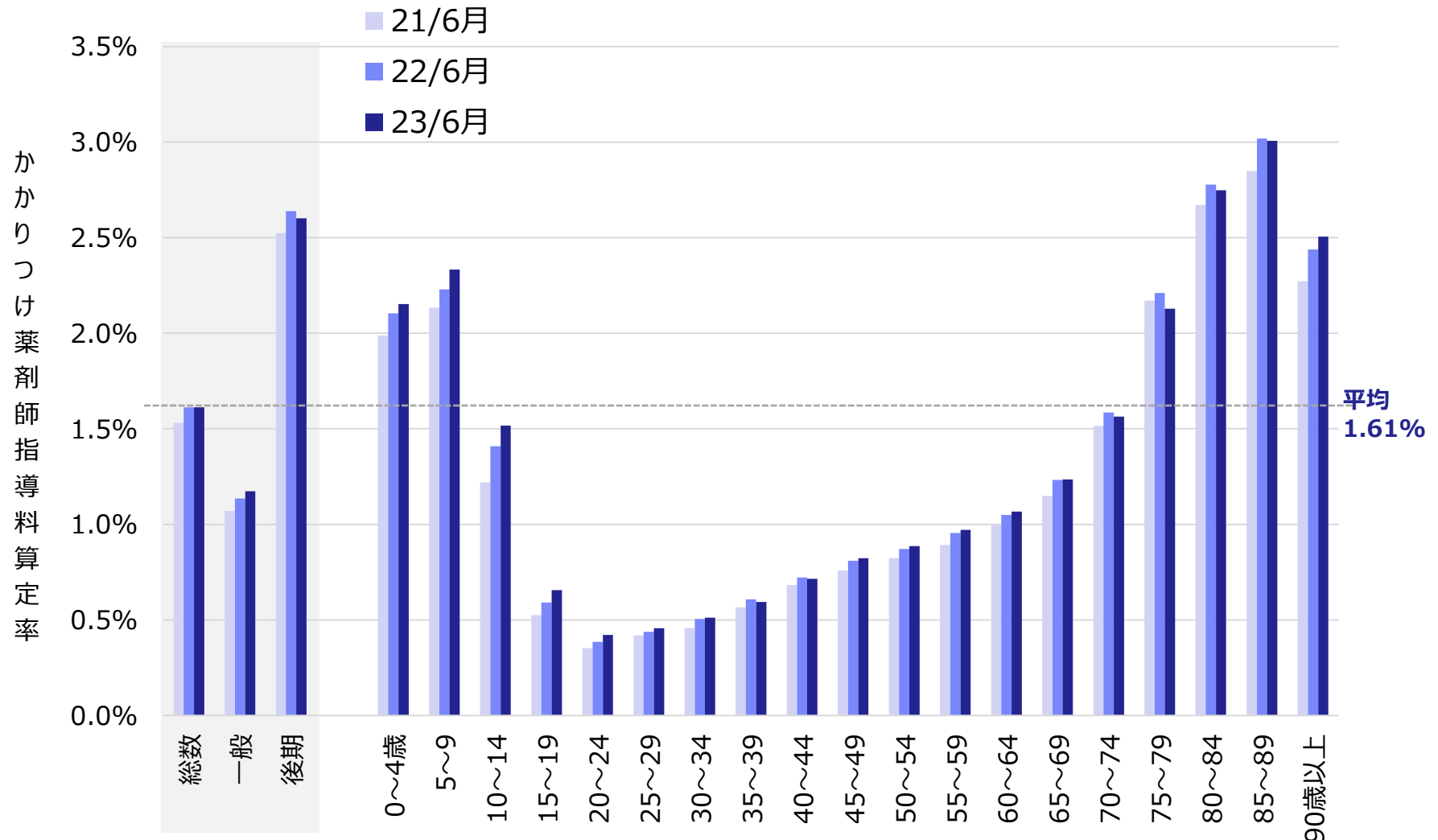
吸入薬指導加算は実績、算定率ともに大きく伸びた。一方で、調剤後薬剤管理指導加算の算定は減少した。



▶ 社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出

年齢別かかりつけ算定率

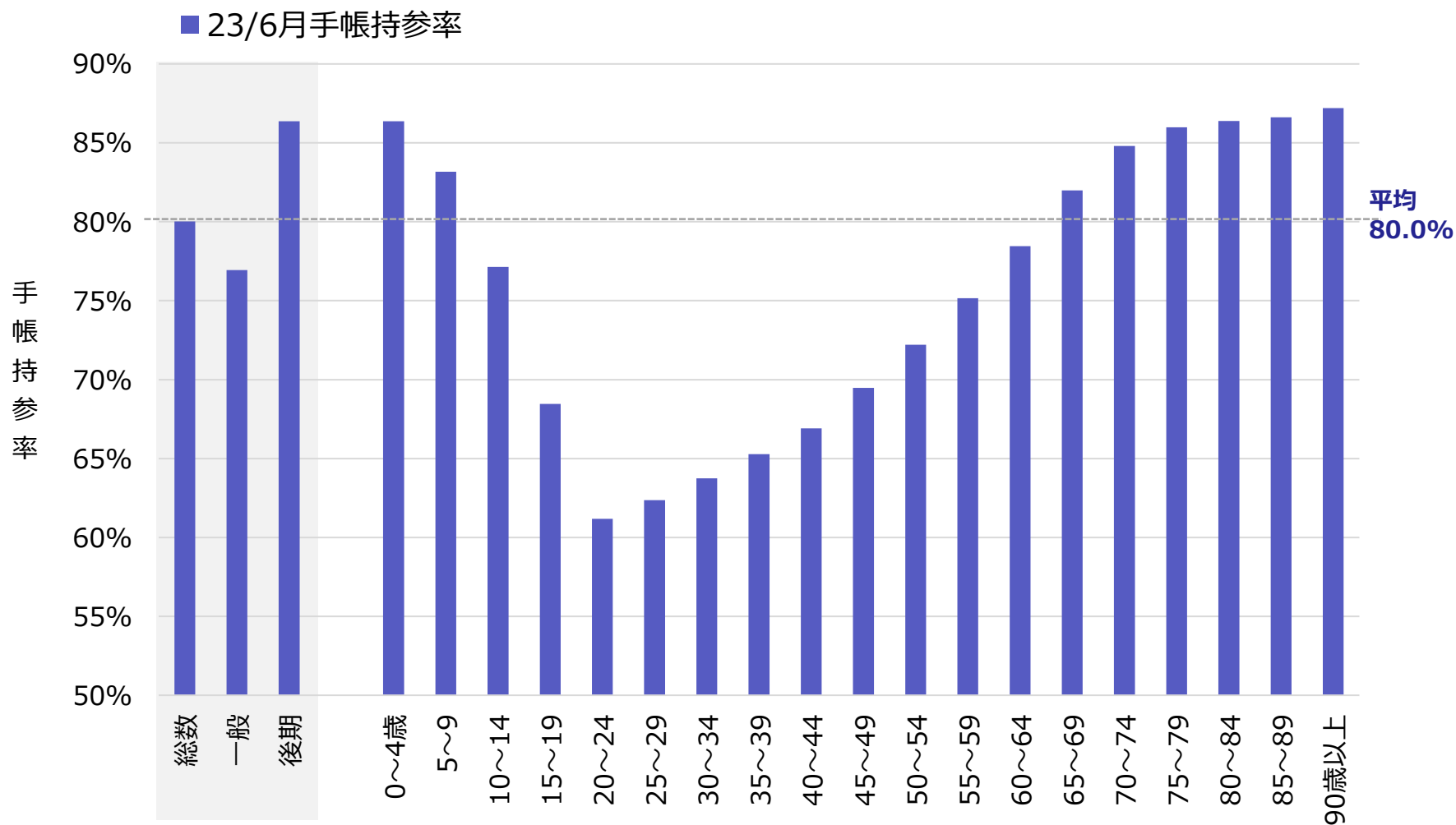
0～9歳の乳幼児・小児、75歳以上の高齢者においては、かかりつけ薬剤師指導料の算定率が平均より高い傾向がみられ、0～15歳未満の乳幼児・小児において算定率が伸びている傾向がみられた。



社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出

年齢別手帳持参率

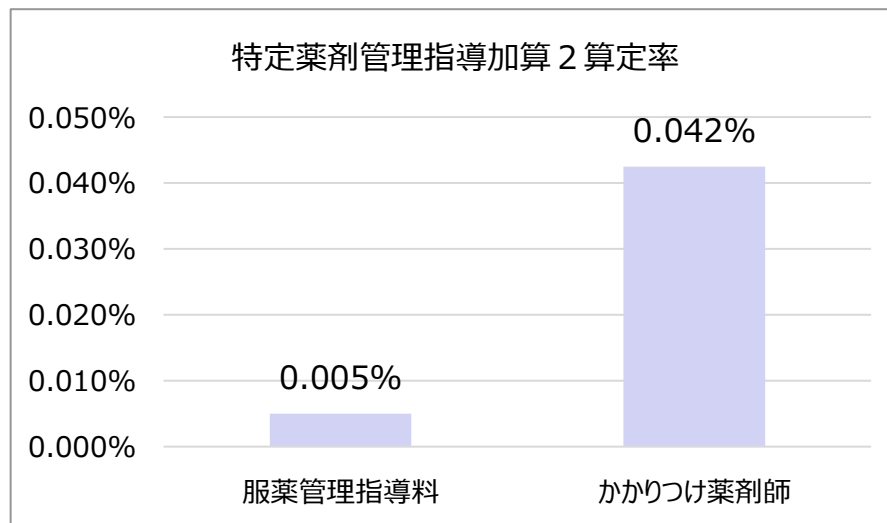
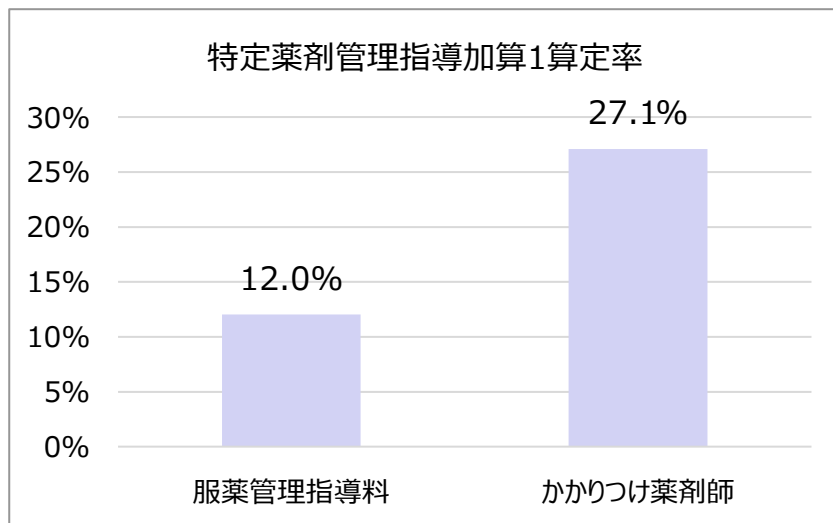
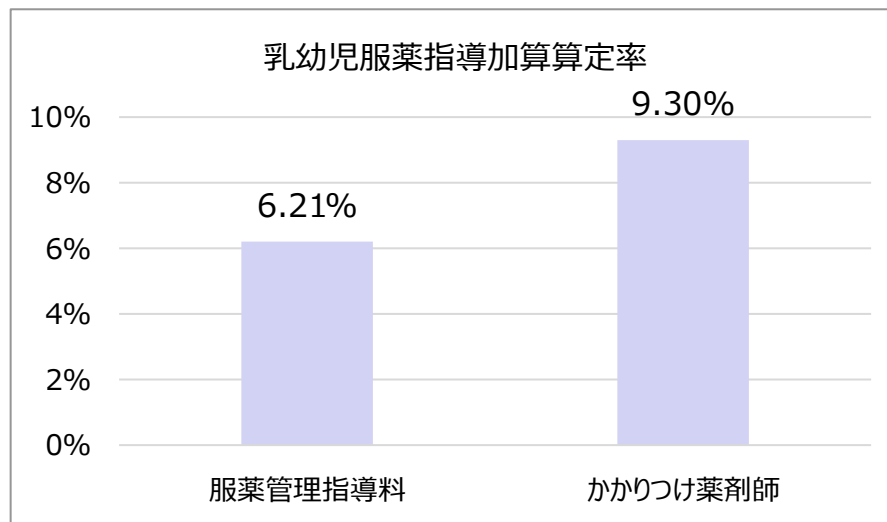
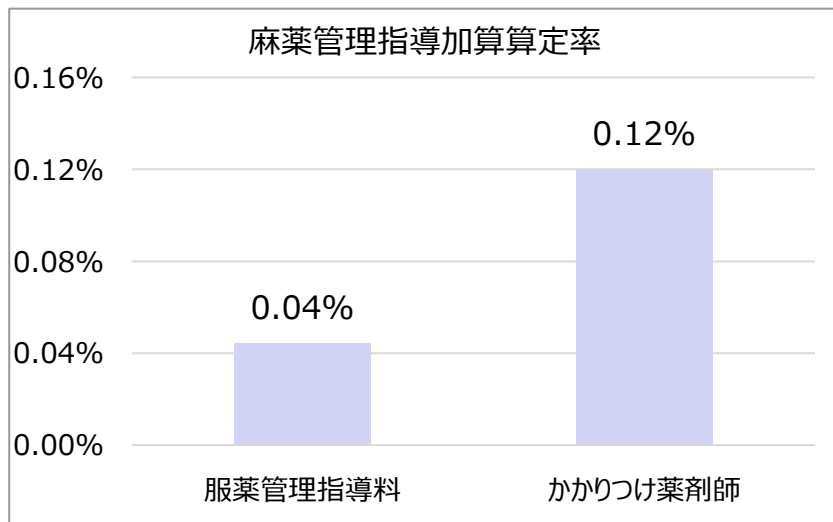
0～9歳の乳幼児・小児、65歳以上の高齢者において、お薬手帳持参率は平均より高い傾向が見られた。



かかりつけ機能発揮 – 2023年6月 –

■ 算定率

かかりつけ薬剤師指導料を算定している場合の方が、各種加算の算定率が高い傾向が見られた。

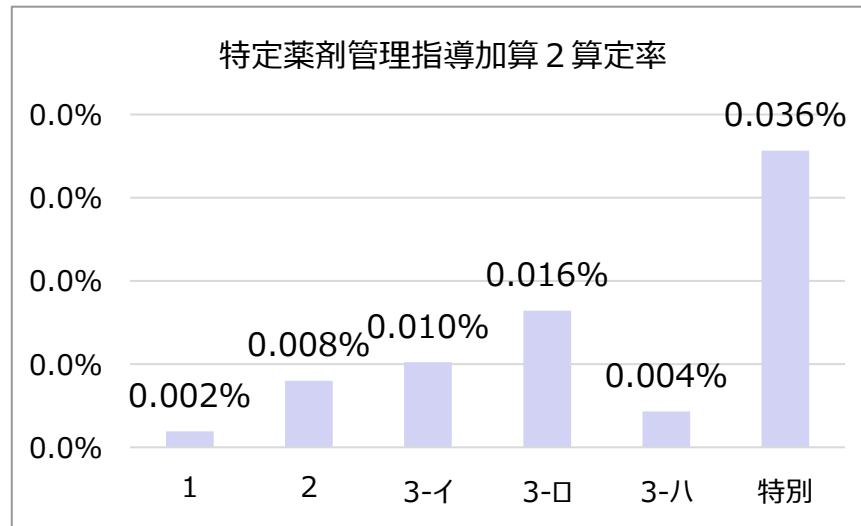
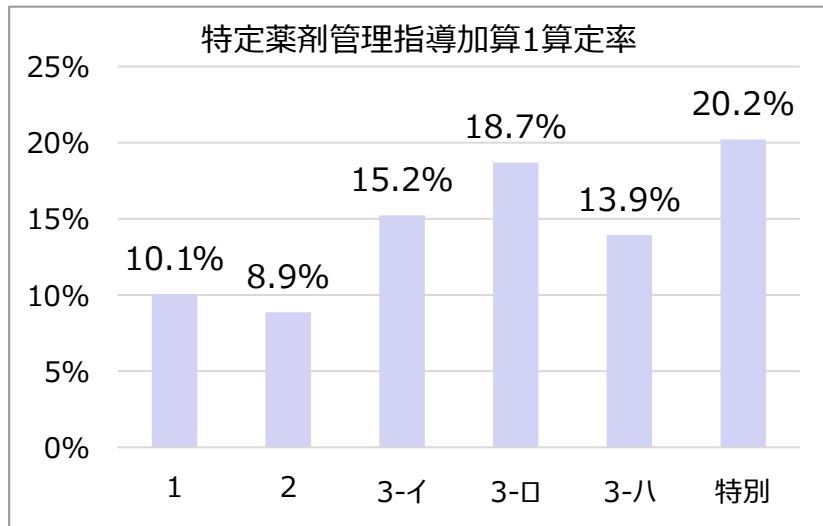
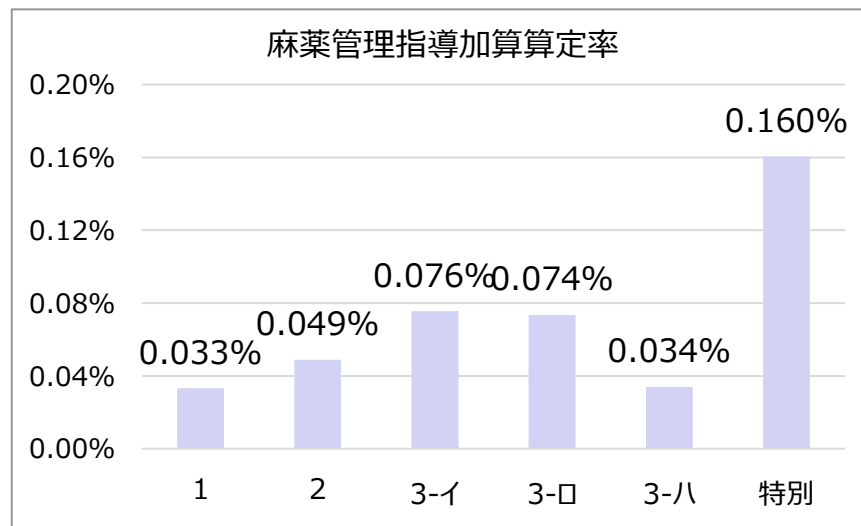
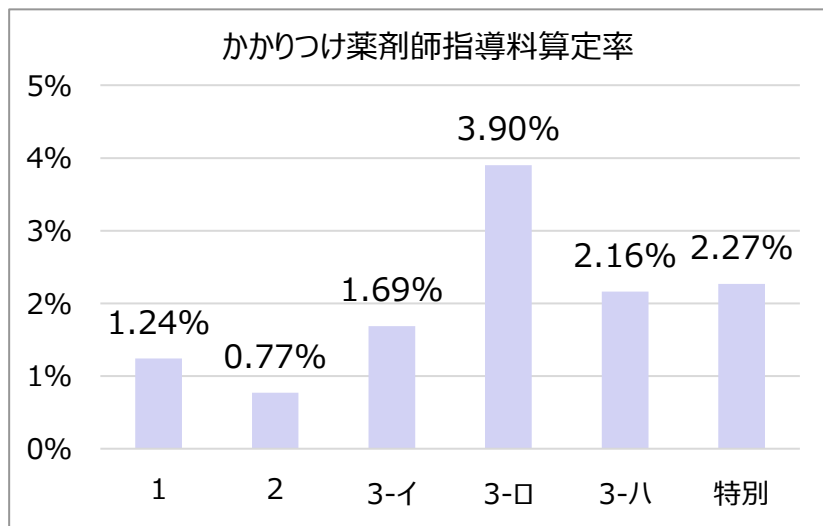


▶ 社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を服薬管理指導料もしくは、かかりつけ薬剤師指導料の算定件数で除して算出

調剤基本料別 算定実績 1 – 2023年6月 –

算定率

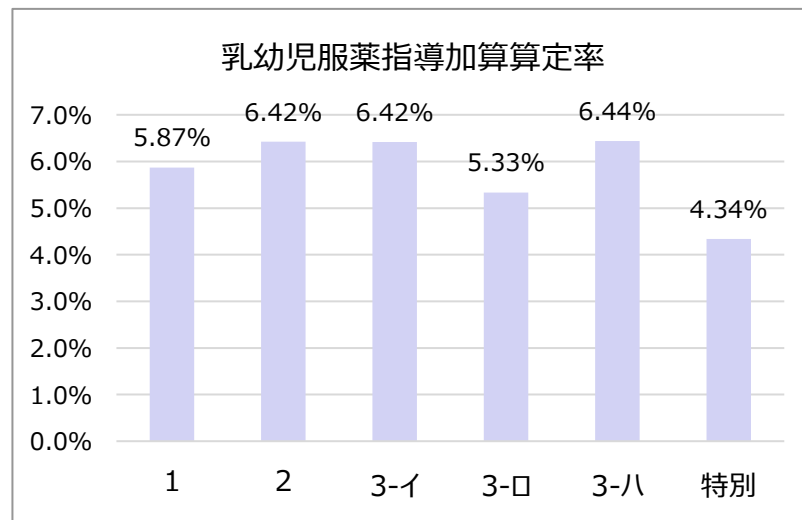
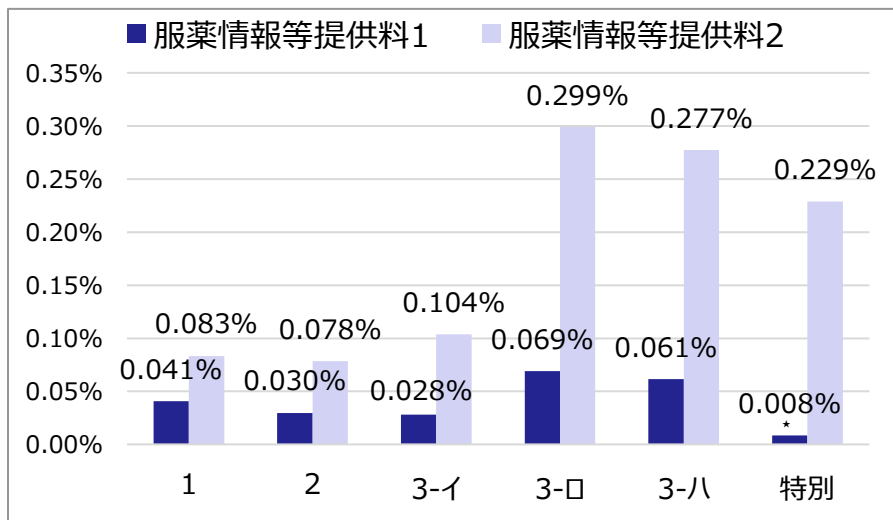
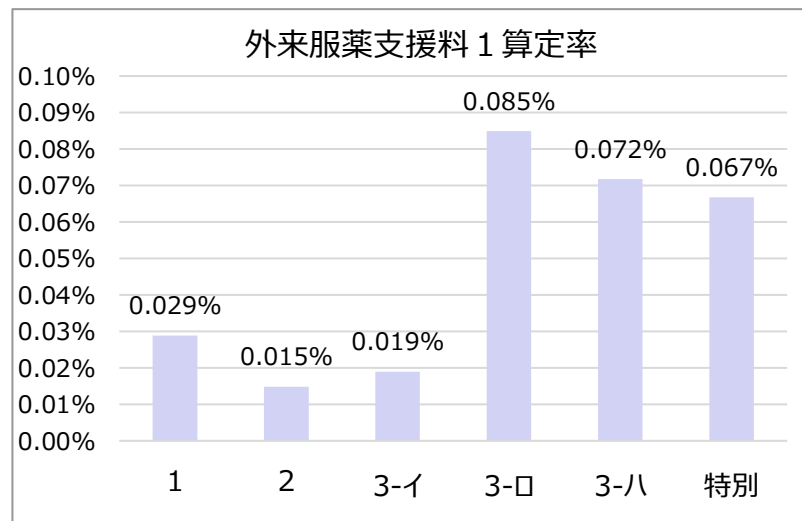
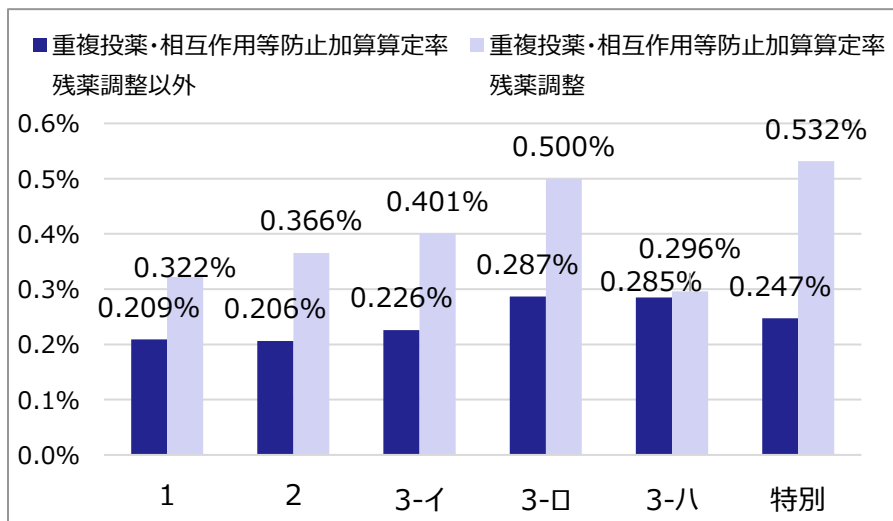
かかりつけ薬剤師指導料の算定率では、基本料 3 – 口が突出して高く、麻薬管理指導加算と特定薬剤管理指導加算 1 及び 2 の算定率は、特別調剤基本料が高かった。



調剤基本料別 算定実績 2 - 2023年6月 -


■ 算定率

服薬情報等提供料 2、外来服薬支援料 1 において、基本料 3-ロ、3-ハ、特別調剤基本料の薬局の算定率が、それ以外の薬局と比べて顕著に高かった。



社会医療診療行為別統計より 算定率は算定件数を受付回数で除して算出

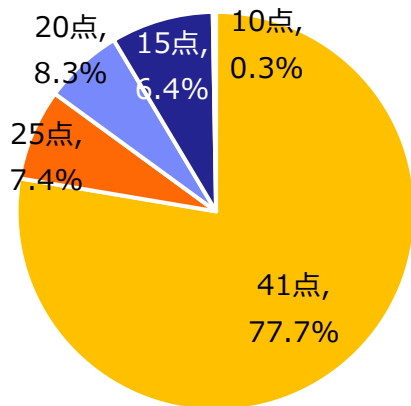
* 特別調剤基本料の薬局においては、薬局と同一敷地内の医療機関への情報提供では服薬情報等提供料は算定不可

- 
1. 調剤全体の状況
 2. 薬学管理料・加算の算定状況
 - 3. 調剤基本料・加算の算定状況**

調剤基本料 算定回数構成比

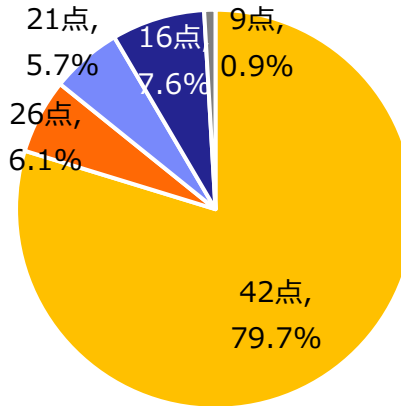
2022年度改定において基本料3-ハが新設され、300薬局以上の薬局グループにおいて基本料1を算定していた薬局の大部分が3-ハとなった。

2019年6月



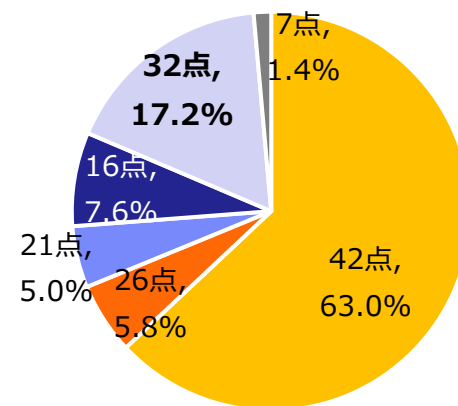
- 41点 (基本料1)
下記以外
- 25点 (基本料2)
4,000回超 集中度70%超 or 2,000回超
集中度85%超 or 特定病院4,000回超
- 20点 (基本料3-イ)
同一グループ4万回/月超
集中度85%超 or 賃貸借契約
- 15点 (基本料3-ロ)
同一グループ40万回/月超
集中度85%超 or 賃貸借契約
- 10点 (特別)
病院と特別な関係 (不動産取引等)
集中度95%超

2021年6月



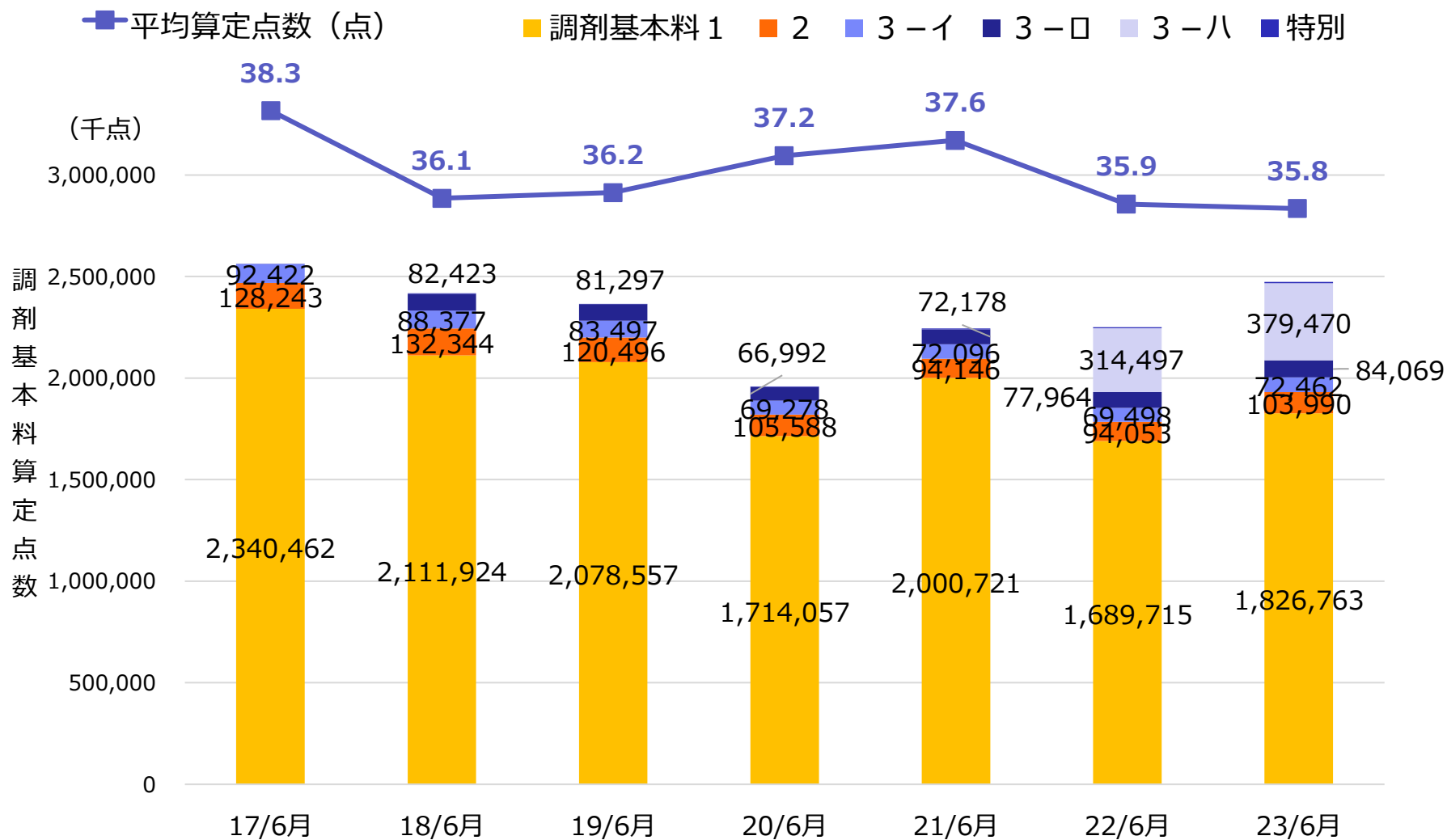
- 42点 (基本料1)
下記以外
- 26点 (基本料2)
同左 or 1,800~2,000回 集中度95%超
- 21点 (基本料3-イ)
同左 or 同一グループ3万5千~4万回/月
集中度95%超
- 16点 (基本料3-ロ)
同左
- 9点 (特別)
医療機関と特別な関係 (不動産取引等)
集中度70%超

2023年6月



- 42点 (基本料1)
下記以外
- 26点 (基本料2)
同左 or 1,800~2,000回 集中度95%超
- 21点 (基本料3-イ)
同左 or 同一グループ3万5千~4万回/月
集中度95%超 (300薬局未満)
- 16点 (基本料3-ロ)
同左、40万回/月超または300薬局以上
- 32点 (基本料3-ハ)
基本料2、3-ロ、特別調剤基本料以外
同一グループ月40万回超 または300薬局
以上であって、集中度85%以下
- 7点 (特別)
同左

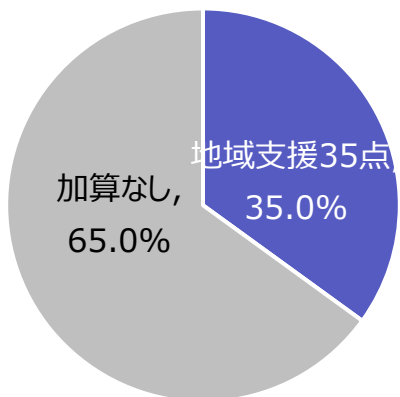
調剤基本料算定点数と平均算定点数



地域支援体制加算 算定回数構成比

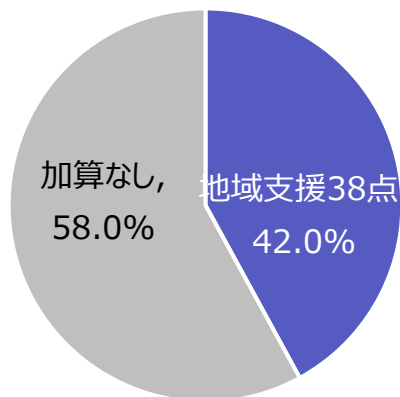
2022年度改定において基本料3-ハが新設され、300薬局以上の薬局グループにおいて基本料1を算定していた薬局の大部分が3-ハとなった。地域支援体制加算は基本料1は加算1及び2、基本料1以外は加算3及び4が適応される体系となった。

2019年6月



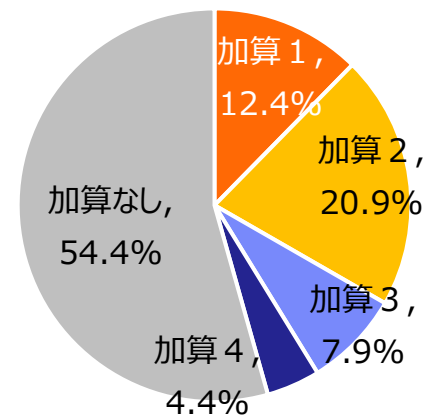
- 地域支援体制加算 35点
基本料1の場合
在庫1,200品目 24h輪番 麻薬免許 在宅1件 かかりつけ薬剤師届出 管理薬剤師（薬局経験5年・在籍1年・週32h） プレアポイド報告実績等
- 基本料1以外の場合
上記に加え、
地域医療に貢献する体制を有することを示す相当の実績（8項目 1人当たり相当数実績）のクリア

2021年6月



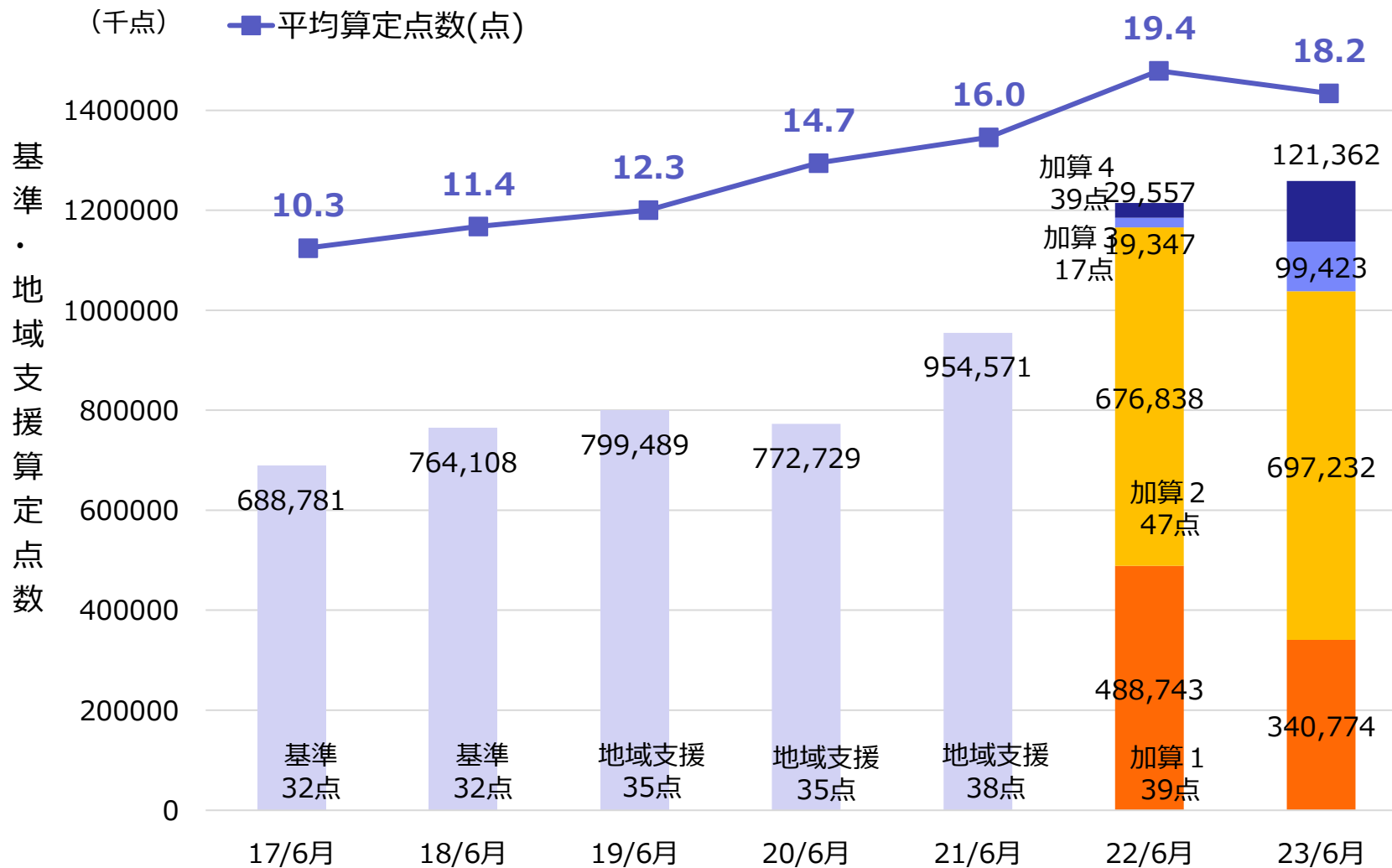
- 地域支援体制加算 38点
基本料1の場合
同左+在宅12件以上/年、服薬情報等提供料の実績12回以上/年、地域の多職種と連携する会議出席1回以上/年
※実績要件は2021年4月より適用
- 基本料1以外の場合
上記に加え、
地域医療に貢献する体制を有することを示す相当の実績（8項目 1人当たり相当数実績+地域の多職種と連携する会議出席5回以上/年）のうち8つ以上クリア

2023年6月



- 地域支援体制加算 1 39点
基本料1を算定
在宅24件以上/年 他同左
- 地域支援体制加算 2 47点
上記に加え、
地域医療に貢献する体制を有することを示す相当の実績（8項目 **処方箋受付1万回あたり相当数実績+地域の多職種と連携する会議出席5回以上/年**）のうち3つ以上クリア
- 地域支援体制加算 3 17点
基本料1以外、上記3つ以上クリア
- 地域支援体制加算 4 39点
基本料1以外、上記8つ以上クリア

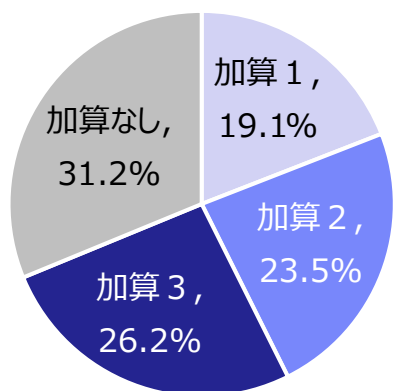
地域支援体制加算 算定点数と平均点数



GE加算 算定回数構成比

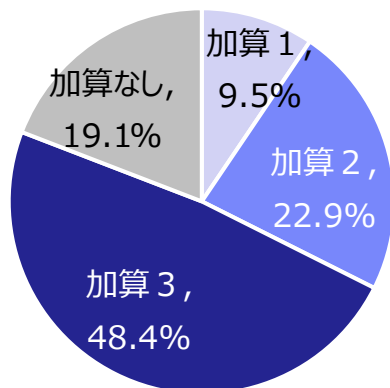
2022年度改定において加算要件が引き上げられたことで、加算1～3の構成が変わった。

2019年6月



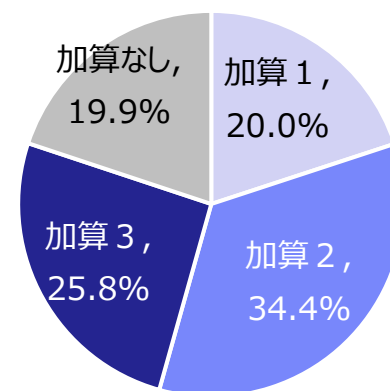
- 加算1 18点
GE数量ベース 75%以上
- 加算2 22点
GE数量ベース 80%以上
- 加算3 26点
GE数量ベース 85%以上

2021年6月



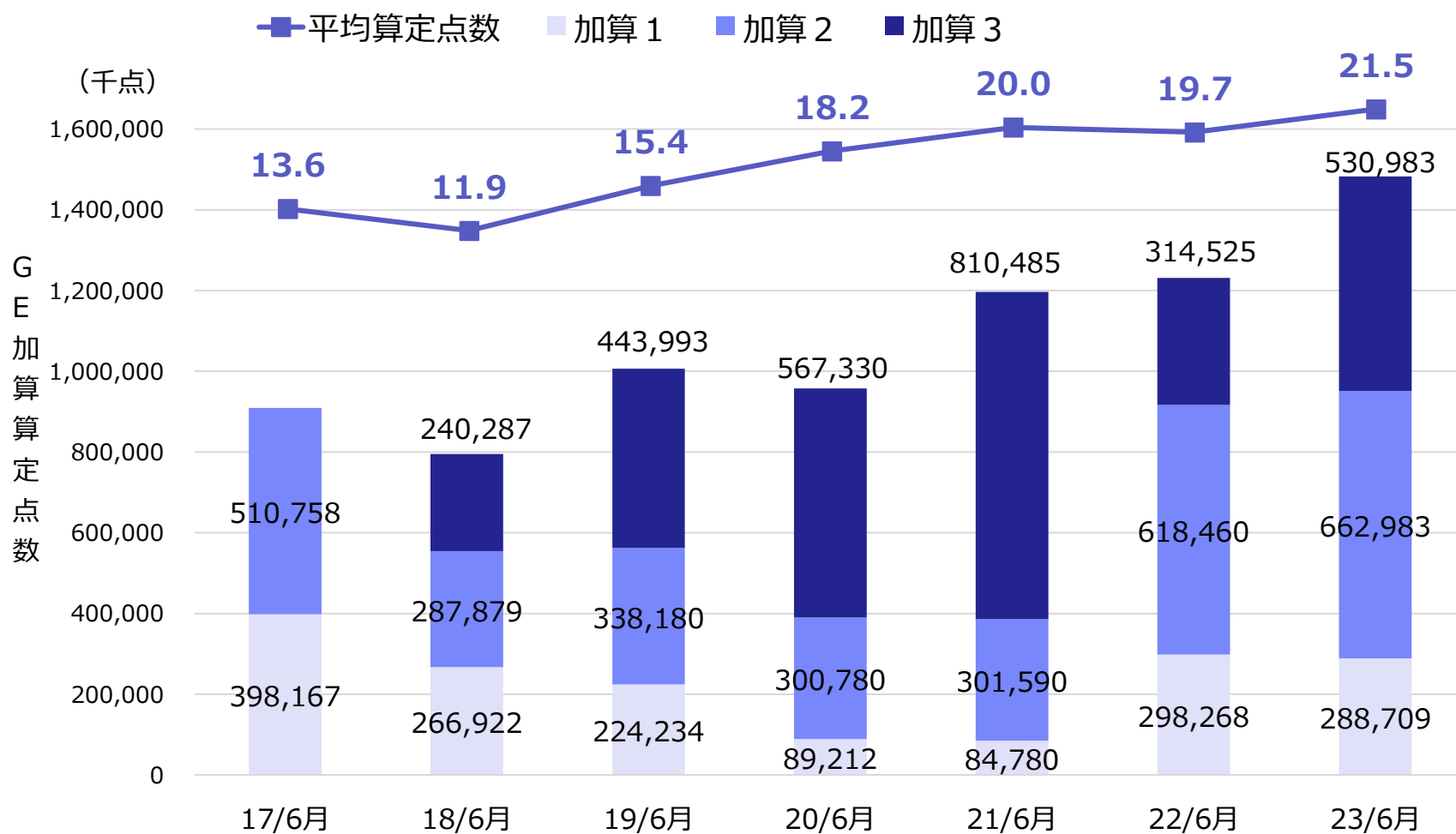
- 加算1 15点
GE数量ベース 75%以上
- 加算2 22点
GE数量ベース 80%以上
- 加算3 28点
GE数量ベース 85%以上

2023年6月



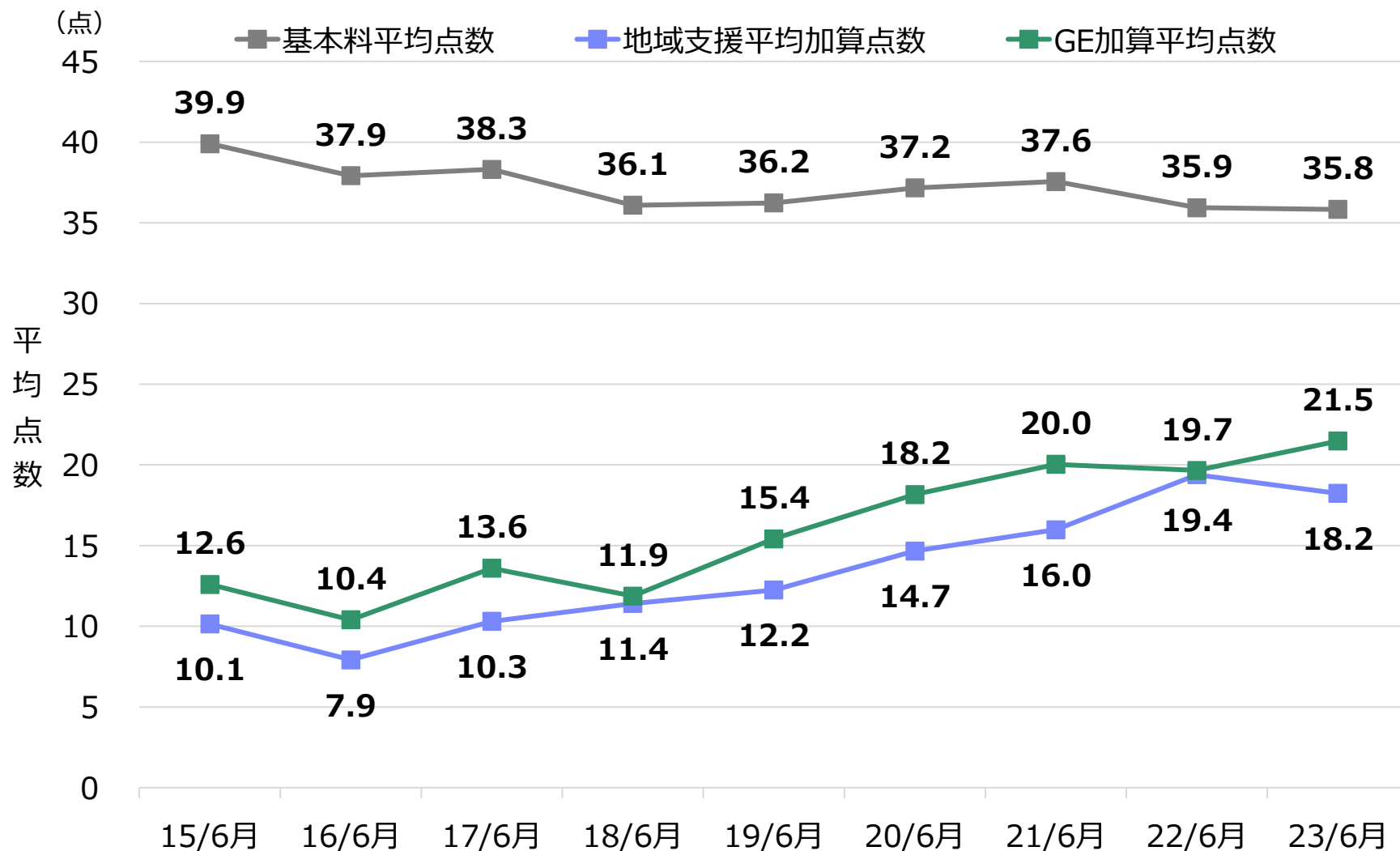
- 加算1 21点
GE数量ベース 80%以上
- 加算2 28点
GE数量ベース 85%以上
- 加算3 30点
GE数量ベース 90%以上

GE加算 算定点数と平均点数



調剤基本料と加算の平均点数の推移

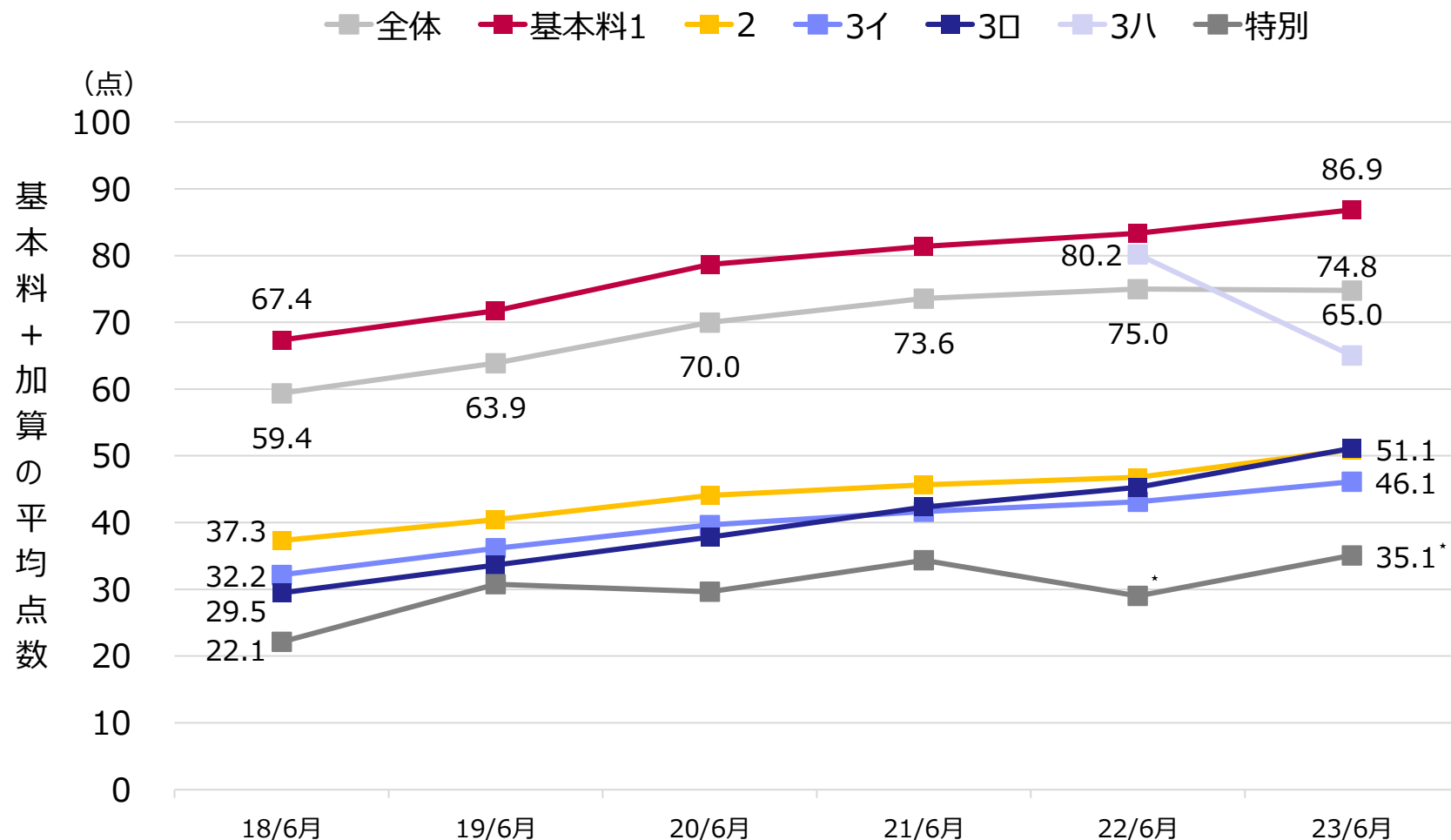
地域支援平均加算点数は▲1.2点となった。これは全体受付回数の17.2%を占める調剤基本料3-8において、経過措置が終了し基本料1以外の実績要件が適応されたことが影響していると推察される。



▶ 社会医療診療行為別統計より 各算定点数を調剤基本料算定回数で除して算出 17/6月以前は基準調剤加算

調剤基本料別 基本料 + 加算の平均点数の推移

調剤基本料 3 - 八における平均点数が▲15.2点となった。これは地域支援体制加算の経過措置が終了し基本料 1 以外の実績要件が適応されたことが影響していると推察される。



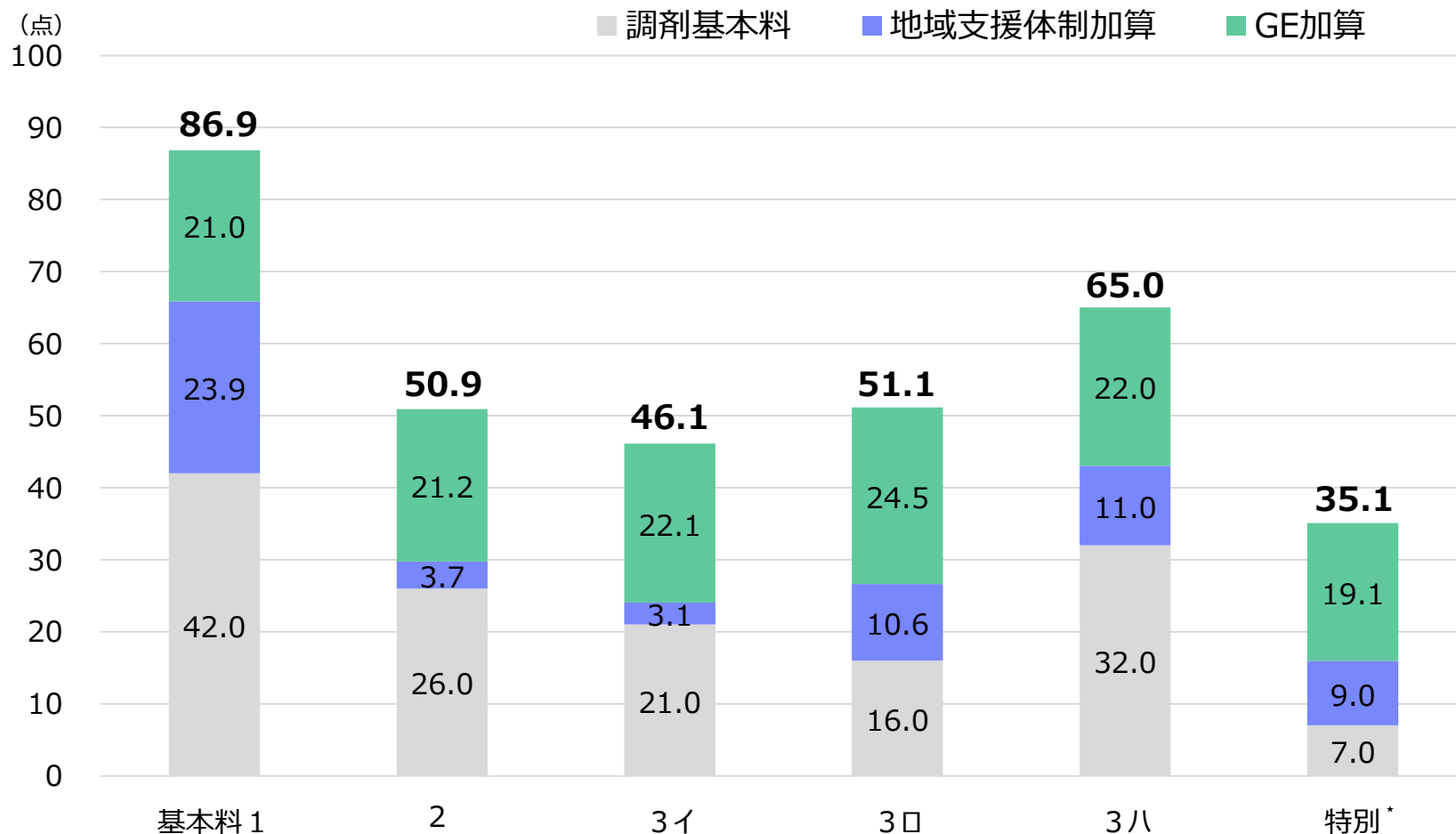
▶ 社会医療診療行為別統計より 各算定点数を調剤基本料算定回数で除して算出

▶ 加算：地域支援体制加算および後発医薬品調剤体制加算

▶ * 特別調剤基本料の薬局においては、加算点数×0.8となる。

調剤基本料別 基本料 + 加算の平均点数の構成

平均点数の差は、調剤基本料だけでなく地域支援体制加算による影響も大きい。



社会医療診療行為別統計より 各算定点数を調剤基本料算定回数で除して算出

加算：地域支援体制加算および後発医薬品調剤体制加算

* 特別調剤基本料の薬局においては、加算点数×0.8となる。

参考) 地域支援体制加算の要件 2023年6月時点

調剤基本料 1 以外においては、要件ハードルが高く、点数が低い加算 3、4 が適用される。

調剤基本料区分		基本料 1 42点		基本料 1 以外 7-32点	
		加算 1 39点	加算 2 47点	加算 3 17点	加算 4 39点
実績 I		①～③かつ④または⑤を満たす		-	-
1薬局当 たりの年間回 数	①麻薬小売業者の免許	要		要	実績 II ②
	②在宅薬剤管理	24回以上		実績 II ⑦	実績 II ⑦
	③かかりつけに係る届出	要		実績 II ④	実績 II ④
	④服薬情報等提供料	12回以上		実績 II ⑧	実績 II ⑧
	⑤多職種連携会議	1回以上		実績 II ⑨	実績 II ⑨
実績 II		-	①～⑨のうち 3つ以上を満たす	①～⑨のうち ④及び⑦を含む 3つ以上を満たす	①～⑨のうち 8つ以上を満たす
①～⑧は処 方箋受付 1万回当 たりの年間回 数	①夜間・休日等の対応実績	-	400回以上	400回以上	400回以上
	②麻薬加算	-	10回以上	10回以上	10回以上
	③重複投薬・相互作用等防止加算	-	40回以上	40回以上	40回以上
	④かかりつけ薬剤師指導料等	-	40回以上	【必須】40回以上	40回以上
	⑤外来服薬支援料 1	-	12回以上	12回以上	12回以上
⑨は1薬局 当たりの年 間回数	⑥服用薬剤調整支援料 1 及び 2	-	1回以上	1回以上	1回以上
	⑦単一建物診療患者が1人の在宅薬剤管理	-	24回以上	【必須】24回以上	24回以上
	⑧服薬情報等提供料	-	60回以上	60回以上	60回以上
	⑨多職種連携会議	-	5回以上	5回以上	5回以上



Nippon Pharmacy Association

日本保険薬局協会